



か ん ご

れんめい大分

平成25年1月15日発行

第50号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.renmei-oita.com/>

発行所：大分県看護連盟 大分市豊饒310番地の4 大分県看護研修会館 TEL 097-574-7088
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123

明けまして
おめでとーうーごーいませす



宇佐神宮（大分県宇佐市）

あべ俊子先生三選!!
おめでとーう!!



平成24年12月16日



昌 宏
石田まさひろ

もくじ

| | |
|--------------------------------------|------|
| 明けましておめでとうございます ～ごあいさつ～ | 2・3P |
| 石田まさひろコーナー・あべ俊子衆議院議員コーナー | 4・5P |
| 各地区支部長より新年のご挨拶 | 6・7P |
| 「れんめい大分」50号の発行を記念して | 8・9P |
| 看護管理者研修会報告／「第6回ポリナビワークショップin福島」に参加して | 10P |
| 県別会議／リーダーセミナー | 11P |



| | |
|-------------------|---------|
| 平成 24 年度 | |
| 大分県看護連盟 会員数 | |
| (平成 24 年 12 月末現在) | |
| 連盟会員 | 3,439 名 |
| 特別会員 | 1 名 |
| 学生会員 | 2 名 |
| 賛助会員 | 65 名 |

明けましておめでとうございます



大分県看護連盟
会長 安東 和代

新年あけましておめでとうございます。

日頃より看護連盟へご支援・ご協力いただき深く感謝申し上げます。

皆さま方のご厚意により、昭和51年7月20日の第1号発行から今回発行の「れんめい大分」で、第50号となる節目の発行となりました。

これまでの変わらないご支援に心からお礼を申し上げます。

新しい年を迎えても、さまざまな課題のなかで真剣に取り組んでいらっしゃることでしょう。

- ・必要な看護職員は確保できているでしょうか
- ・職場を取り巻く環境はどうでしょうか
- ・「いい看護ができた」と実感できているでしょうか

私たち看護職がいきいきと誇りをもって働きつづけるためには、多くの課題を解決しなければなりません。今一番の課題が看護職の人材不足といわれていますが、看護業務の密度の高まり、看護分野の広がりにより、看護の需要はますます増加しております。

看護職の人材不足は、法的・制度的事項に関係することであり、政策として推進していかなければ容易には解決できません。解決のためには国政の場に看護のことが分かっている看護職の代表がより必要です。

今年は選挙の年、看護職の代表（石田まさひろ候補予定者）を送る本番の年です。“看護の力”を発揮しましょう。

みなさまの今年一年のご健康とご多幸をお祈り致します。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



日本看護連盟
会長 清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。政治も経済も暗い話題の多い昨年でしたが、年末になってあべ俊子先生の衆議院選挙三選の嬉しいニュースが飛び込んできました。小泉元総理大臣の郵政解散で刺客として岡山3区に送りこまれたあべ先生が、地域の代表として認められるまでのご苦労は計り知れません。しかしそうしたことを一切お顔に出されないのが先生の凄いところです。支援者の輪を確実に広げ、全国の看護連盟の仲間たちからの応援もいただいて見事な当選となりました。この勢いを大きな追い風として今年の夏には石田まさひろさんを確実に国政の場へ送り込み、あべ俊子先生、たかがい恵美子先生とスクラム組んで超高齢社会の社会保障政策充実のために活躍してもらいたいと願っております。

連盟会員として活躍できる時間も後わずかになってきました。「ベッドサイドから政治を変える」を合言葉に大分県会員の皆様のエネルギーが熱伝導で隔々にまで広がりますように!!



参議院議員
高階 恵美子

大分県看護連盟の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、新しい政権の誕生とともに、いよいよ私たち看護職の意思を徹すときを迎えました。これまでの6年間の苦悩を乗り越えて、来る夏には総力を結集し、国政の健全化を実現すべく、ともに活動してまいります。

たかがい恵美子の参議院議員活動も、お陰様で3年目に入りました。この間、絶えず力強くお支えくださる皆さまのご厚情に深く感謝しながら、また新たな課題の解決に挑戦する勇気と知恵をいただきながら、一步一步、歩みを進めていくことができました。労苦をいとわずご尽力くださる同志の皆様に対し、心より御礼を申し上げる次第です。

看護職一人ひとりが、楽しく・豊かに・堂々と働き続けることのできる社会環境づくりを目指して、皆様とともに知恵を出し合い、着々と地に足の着いた活動を心がけて参ります。今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が会員の皆様、ご家族の皆様にとりまして、幸多き年となりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員
あべ 俊子

大分県看護連盟の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと拝察申し上げます。

昨年末の師走の選挙では、大分県看護連盟の皆様のご温かいご支援のおかげさまで、再び国政の場へ送り出していただくことができました。あらためて全国の看護連盟の皆様のお力添えの大きさをかみしめますとともに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今回の総選挙の結果、自民党は3年3か月ぶりに政権を担えるようになりました。野党として歩んだ間に党の再生に向けて全力で取り組んできたことの是非を、これからは国民の皆さまに判断していただくこととなります。今回の結果に決して甘んじることなく、震災復興や景気・雇用対策など、この国の将来を見据えた国民のためになる政策が実現できるよう、今後もしっかりと国政において議論を重ねてまいります。

私自身も初心を忘れることなく、看護職の皆さんお一人お一人が「看護職になってよかった」と思えるような環境を整備できるよう引き続き頑張っております。今後とも皆様の温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



大分県看護協会
会長 松原 啓子

新年あけましておめでとうございます。看護連盟の会員の皆さまにはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の大分県豪雨で被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。大分県看護協会は、今回のような自然災害に備え、災害支援対策の見直しをしております。

平成24年4月に公益社団法人に移行できました。さらに県民に資する公益事業を推進するとともに、看護職の資質向上に尽力しております。次に看護職の定着・確保の「総合拠点」として①ネットワークづくり②職場づくり③人づくり④ナースバンクの強化⑤広報強化等新年度は事業活動を拡大・充実させ、さらに飛躍できるように尽力したいと思います。

これらの看護政策が実現できるように看護連盟を応援し、看護界の更なる発展を期待しております。

"看護の力"「石田の力」が日本を元気にする!



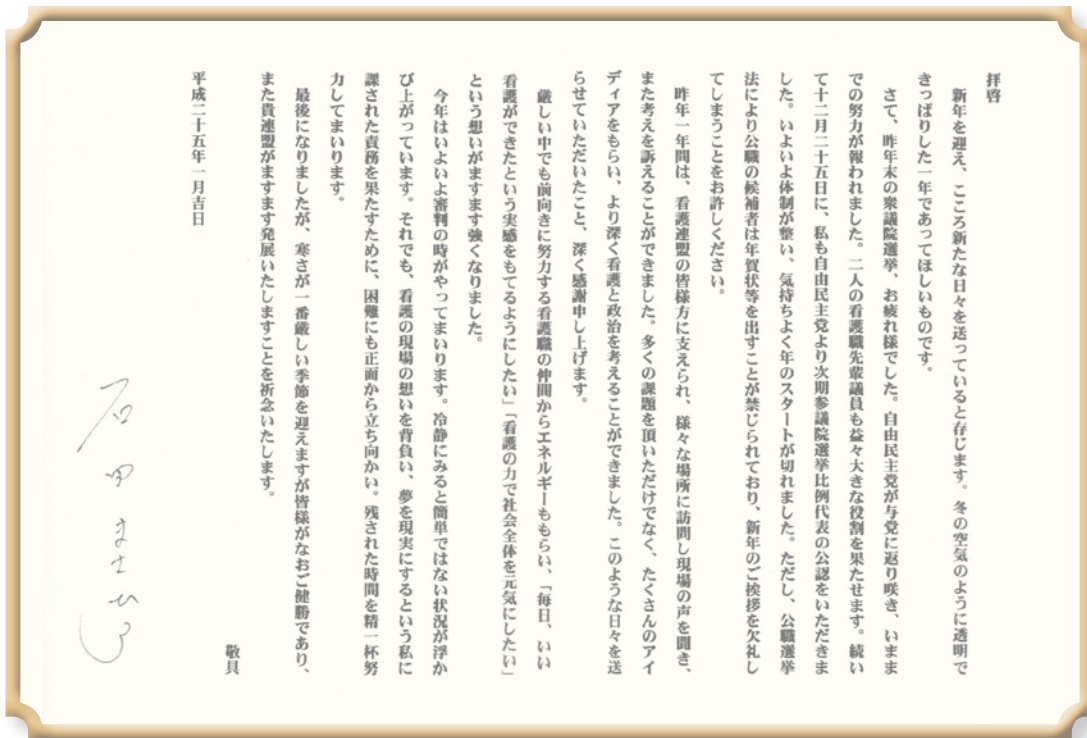
大分県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。
 いよいよ選挙の年が始まりました。私もますますの成長し皆様の想いに叶う人物となるよう努力を続けて参ります。

さて、昨年は10ヶ月余りの時間をいただき、日本を3周、1000ヶ所ほどの病院や施設等にお伺いさせていただきました。現場の声を丁寧に聞き、現場の工夫を教えてもらい、そこから多くのことを考えました。今一番強く願っていることは、「今日もいい看護ができた!」という実感を現場に取り戻したいということです。すべての政策はここに通じなければなりません。

そして看護の素晴らしさを社会全体に伝え、私たちの知恵や技術そして心をもって、高齢社会を幸せが実感できる社会に変えて行きます。

昨年の活動を支えてくださった皆様に改めて感謝申し上げます。そして今年も皆様にお会いすることを楽しみにしています。

昌宏
石田まさひろ



石田まさひろ 政策研究会 ～活動～

ホップ

- ❁ 平成24年3月15日(木) 大分地区
- ❁ 平成24年6月27日(水) 玖珠・日田地区 由布地区

おかげさまで終了いたしました。

ステップ

- ❁ 平成24年9月6日(木) 竹田・豊後大野地区
- ❁ 平成25年1月22日(火) 国東・杵築・別府地区
- ❁ 平成25年1月23日(水) 臼津・佐伯地区・日出地区
- ❁ 平成25年2月14日(木) 豊後高田・宇佐・中津地区

一部終了いたしました。

ジャンプ

- ❁ 平成25年5月27日(月)開催
- 会場は未定

※詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。

看護が豊かに行われる社会づくり

看護は、人のいのちと暮らしを守り、未来に希望を与える



表紙の「赤」 について

宇佐神宮の杜の鮮やかな朱に、石田まさひろ候補予定者のイメージカラーの「赤」を合わせ表紙としました。(新年には当選も願って手も合わせました)

石田まさひろ候補予定者のイメージカラーの「赤」は、南野知恵子先生の「赤」を引き継ぐために決められました。

あべ 俊子 衆議院議員 当選！

第46回衆議院議員総選挙 ～三期目当選！～

12月16日(日)投開票が行われた第46回衆議院選挙において、衆議院議員として3期目の当選を果たすことができました。心より御礼を申し上げます。

選挙期間中は、全国の看護連盟から電話作戦へのご協力をいただいたほか、たくさんの心強い励ましのお言葉やメッセージをちょうだいいたしました。また、協会・連盟の役員の皆様には、遠路岡山まで足を運んでいただくなど、看護職の皆さまからの声援は、私だけでなく、後援会、事務所スタッフ一同にとっても大変大きな支えとなり、それを力に、チーム一丸となって、この選挙戦を乗り切ることができました。

お支えをいただいた皆さまへの深い感謝の思いを胸に刻み、常に初心を忘れることなく、衆議院議員3期目も全力で駆けぬけてまいります！



お祝いを述べる 石田前日本看護連盟幹事長



安倍総理、大臣政務官らとともに

外務大臣政務官を拝命しました！

27日、安倍内閣の発足に伴い、大臣政務官の人事が決定され、外務大臣政務官を拝命いたしました。担当は、中東局アフリカ部・国際協力局地球規模課題審議官組織・国際法局・領事局です。清水嘉与子先生や南野知恵子先生が議員時代にご尽力くださった人口問題など、国際的な保健の問題に取り組みさせていただくこととなります。日本の国益のために努力してまいりますので、これからもご指導よろしくお願いたします。

各地区支部長より新年のご挨拶

国東・杵築・日出地区

新年明けましておめでとうございます。

皆さん、政権交代後社会が少しずつ動いていると思いませんか？今年には夏に参議院選挙があります。看護の質の向上や労働条件、職場環境の改善等の看護政策を実現させる為には、我々の代表を国政の場に送らねばなりません。私たち支部役員も一丸となって1人でも多くの方々に政治に参加（投票行動）することの大切さを働き掛けていきます。皆さんも声を掛け合って行動を起こして下さい。

近日中にステップⅡが開催されます。前看護連盟幹事長で政策通でも有名な参議院候補予定者石田まさひろさんが、皆さんの職場に直接伺います。地域での現状を知ってもらい、現場の声が国政の場で発揮できる為に、皆で石田さんを応援しようではありませんか。今年もご支援のほどよろしくお願いいたします。

河野 かよ子



別府地区

新年明けましておめでとうございます。

昨年はいろいろと支部活動に御協力頂き有難うございました。基礎研修、続基礎研修の終了していない方もおられますが、連盟入会者全員が3月まで終了するよう努力致しますので御協力をよろしくお願い致します。

さて、今年の7月は参議院の選挙です。参議院議員の候補予定者“石田まさひろ”さん、歴史上初めての男性候補者です。日本看護連盟の幹事長として活躍されていましたが、看護職の代表として国政の場へ送り出し、ベッドサイドから政治を変えていただくではありませんか。政治の流れを変えるには当選しなければ現場の声は届きません。看護職の皆さんが一丸となって1人でも多くの方に“石田まさひろ”さんの名前を知って頂き投票に行くよう声かけしようじゃありませんか。

あなたの一票が将来の看護を変える。

後悔しないよう皆さん選挙に行きましょう!!

河野 栄子



大分北部地区

皆様、明けましておめでとうございます。

いよいよ、第23回参議院選挙の年です。

昨年は石田候補予定者の名簿集めに、多大なご協力を頂きまして、大変ありがとうございました。お陰様で、当支部の所期の目的数に達成することができました。

しかし、選挙は7月初旬の予定なので、これから本格的な活動開始です。

名簿を書いてくださった方全員が投票しなければ当選は楽観できません。連盟会員は勿論のこと、会員が依頼して書いてくださった方も必ず投票に行くように継続的に働きかけて欲しいのです。

私たち役員も頑張ります。会員の皆様もパワーを全開にして、我々の石田候補予定者を絶対に国会に送るように頑張らしましょう。

式田 公枝



大分北部第2地区

新年明けましておめでとうございます。

当支部は設立して3年がすぎました。初年度は、「たかがい恵美子」さんの当選に向け活動して参りましたが、故有田幸子姉の力がとても大きかったと実感しています。しかし、今年の参議院選挙は当支部の会員の頑張りが頼りです。昨年の衆議院選挙での自民党圧勝が今年の参議院選挙にどう影響するか解りませんが、私たちの代表である「石田まさひろ」さんを必ず国政の場に送り出さなければなりません。看護界の問題だけではなく、この超少子高齢化社会にどう対応していくか…。そこには看護の力が必要なのです。来る日の美酒のために、支部幹事・部署連絡員と力を合わせ頑張っていきたいと思えます。

田辺 美智子



大分南部地区

明けましておめでとうございます。

今年、日本看護連盟前幹事長の石田まさひろ候補予定者の選挙の年です。

今は、大分南部地区支部看護連盟の活動で各施設を訪問して後援活動、政策研究会の申込などご協力を呼び掛けております。今夏の参議院選挙の得票結果に私たち看護職の未来の展望がかかっております。

私たちは、ますます増える老人医療や地域医療を支えていかなければなりません。またIPS細胞や出生前診断など目覚ましい医学の進歩に伴い知識も重要です。その為にも看護職が必要とされます。私たち看護職を守るには、「石田まさひろ」を国会に送り出すということであり、看護職皆様のご協力をお願い申し上げます。

佐藤 たみ子



大分南部第2地区

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、一昨年に引き続き自然災害・不況・更には政治の迷走と、多難な年でした。そうした社会情勢の中で看護職の社会的役割がより期待されています。自然災害では、大分県下にも多大な被害がありました。被災された地域の会員の皆様にお見舞い申し上げます。

れんめい大分50号刊行おめでとうございます。50号の歴史は先輩方が厳しい条件下で看護環境整備の為に努力して下さった足跡そのものです。そのことに感謝し、現在より、良い看護環境を整備して後輩に贈ることが私達の使命と思えます。その為にも今夏の参議院選挙で、新看護職議員の誕生は必須です。皆様投票行動の履行を、よろしくお願いいたします。

古賀 孝子



各地区支部長より新年のご挨拶

竹田・豊後大野地区

新年明けましておめでとうございます。
竹田・豊後大野地区では、昨年7月の北部九州大水害にあい甚大な被害を受けました。

その現場での仲間の活動は、献身的な看護や介護の実践指導であり、命を守る看護職としての使命感を再認識しました。

9月ステップI開催では、14施設の訪問で石田候補予定者が現場の声や状況に耳を傾けていただき、看護職改善への熱い思いを伺い会員一同感激いたしました。

国政の場に私たち現場の声を届けようと、忙しい中会員皆様の参加は有意義な時間を共有することができました。

「看護が豊かに行われる社会づくり」の実現のため草の根活動を実践し、勝利を確実にするため皆様と共に頑張る覚悟です。

ご支援の程よろしくお願いいたします。

加峰 マチ子



豊後高田・宇佐・中津地区

あけましておめでとうございます。

昨年師走の衆議院選結果が石田選挙に追い風となることを期待したいところですが「負けに不思議の負けなし」「勝ちに不思議の勝ちあり」なのだそうです。松原選挙の苦い思い出がよぎります。新政権の失政なきことを祈り乍ら獲得ノルマ達成に皆様の協力をお願いする次第です。

県北の当支部は慢性の人手不足で会員減に歯止めがかからず残念です。せめて選挙では頑張らねばと老体に鞭打って集票に努める所存です。

兎に角、連盟会員の責務として「投票しに行きましょう」。7月には喜び祝い合える良い年でありますように、よろしくお願い申し上げます。

高橋 京子



臼津・佐伯地区

明けましておめでとうございます。

昨年12月16日衆議院選挙で自民党の圧勝となり、なかでも、岡山3区の阿部俊子議員も3期目の当選を果たしました。

清水嘉与子会長が「看護政策立案の場である衆参両院に代表の在籍が重要です。」と言われていました。

会員の皆様には「石田昌宏政策研究会入会票やアンケート」等協力ありがとうございました。情報をもとにお一人おひとりの一票を大切に、職能団体として、充実して働ける環境づくりのため、看護職の代表を国会に送りましょう。

高野 洋美



玖珠・日田地区

新年明けましておめでとうございます。

玖珠・日田地区の支部長として毎月、大分の役員会に通い始めて2年が過ぎようとしております。役員会で看護の諸先輩方から多くのエネルギーを頂き、改めてこのエネルギーを何とか自分の地区で広げていきたい、という思いで活動しております。

私も含め看護の現職は、「看護すること」に一所懸命で、「看護の環境を変える」という行動に移せていない現状があります。職場で困っていることを変えていくためにも、看護職の代表を国政に送る事の重要性を、多くの会員に広げていきたいと思えます。また、権力を主張するためにも「投票」という責任ある行動に結び付けなければなりません。

今年はいよいよ決戦の年です。看護の環境を変えることが患者さんの為になることを信じて、正しい選択を多くの方にしていただけるよう頑張ります。

赤星 秀子



由布地区

新年明けましておめでとうございます。

いよいよ第23回参議院選挙本番の年を迎えました。地道に活動してきたことの結果を出す年です。

医療の現場の問題を解決するためにも、年をとっても住み慣れた地域で生活していくためにも、我々看護の代表者である「石田まさひろ氏」を国政の場に何としても送り出さなければなりません。

連盟会員一人ひとりがともに手をつなぎ、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合言葉に力を結集し、この選挙戦を共に闘っていきましょう。

看護連盟会員が一人となり選挙戦を盛り上げ、何事にもぶれない看護職の力を見せるときです。

目的に向かって、皆様の周りの人たちにこの思いを熱伝導で伝えていけるように一緒に頑張りましょう。

大久保 通子



OB会支部

明けましておめでとうございます。

「近いうち解散」による、今回の衆議院選挙で見事3選の「あべ俊子」さん！会員の皆様の勝利です。

次は「石田まさひろ」さんの出番。メディアは、自公過半数獲得かと夏の参議院選挙を予想し始めました。私たちは「勝って兜の緒を締めよ」の心が大切です。OB会支部を立ち上げて1年半、私たちの役目は看護職代表を国会に送ること、人生の経験豊かな会員各位の広い人脈を生かして、とにかく声を掛けましょう。超高齢化社会において必要不可欠な看護職をアピールして「石田まさひろ」の知名度アップに努め、会員1人最低5票を目指し、「高階選挙」超えのパワーで必ず勝ちましょう。

糸永 和代



「れんめい大分」50号の発行を記念して

看護連盟の誕生から今日まで

昭和34年11月、看護連盟が誕生して半世紀が過ぎました。当時看護協会は陳情や請願では何もできない、組織代表を国政に送るために、政治活動のできる看護連盟を発足させました。翌年5月には、全国で2番目に大分県支部を結成しました。当時の先輩方のご苦勞が忍ばれます。

以来連盟は、協会と表裏一体の活動をつづけ、国政の場に、林塩、石本茂先生をはじめ清水嘉与子、南野知恵子、能勢和子、現衆議の阿部俊子、現参議の高階恵美子先生を送り続け、活動を展開しております。この間の活動があったればこそ、看護教育の4年制化、卒後臨床研修の実施、看護職の処遇改善等々がすすめられ今日を迎えています。しかし、超高齢化社会がすすむ中、医療、看護に対する社会の期待は大きく、現場では多くの問題を抱えているのが実情です。私達は、国民の健康を守る担い手として諸問題の改善に取り組まなければなりません。今これ等しっかり取り組む力を発揮できるのは、組織代表「石田まさひろ」氏こそ最適任です。私達の目標達成にむけて全力で頑張らしましょう。



大分県看護連盟 顧問
永瀬 フミエ

「れんめい大分」発刊50号おめでとうございます

寒中お見舞い申し上げます。この度は「れんめい大分」の発刊50号おめでとうございます。今年はいよいよ参議院議員選挙の年に当たります。みんなで力を合わせて看護職の代表を当選させなければなりません、頑張らしましょう。

私は昭和13年に看護の道に入り（県立病院、保健所）県職在職40年、退職して34年（74年）になりますが、日本看護協会と日本看護連盟は発足当時から、日本の看護の発展には、看護の代表を国会にこのスローガンを掲げて、初代井上なつゑ、林塩先生以来、代々の候補者を当選させてきました。私も代表を国会に送るために、当時のスタッフと共に真剣に頑張ってきました。特に日赤の有田幸子総婦長と一緒に頑張った時代は、今でも強く印象に残っています。

自民党の方々の協力も頂いて大分県自民党本部から表彰状を頂きました。私は現在92歳になりましたが今日なお、日本の看護の発展と若い皆さんの為に目的達成を目指して頑張っております。新聞では時期は7月頃のようにですね。県下同僚の皆さん、安東会長を中心にみんなで頑張って候補者をぜひ当選させましょう。



旧役員
和田 アヤ子

謹んで初春のお慶びを申し上げます

「支部だより」として昭和51年7月創刊された「れんめい大分」は広報委員の連盟に寄せる熱意により、看護職の代表議員や県連盟の動きがつぶさに伝えられ、連盟活動への理解と協力を得るに足る記事と奇麗な写真全てが楽しい思い出です。

さて、看護業務は、今後ますます増大し、社会の看護専門職に寄せる期待は更に膨らむことでしょう。また、次代に対応できる新たな社会保障体系構築への政策実現に向け、私たちの団結力・組織力・底力を大きく世間に示して行きたいと思っております。あべ俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員、石田まさひろ候補予定者には、看護が豊かに行われる社会づくりへのご活躍を期待すると共に、県連盟では、若手会員の活躍が大いに期待されるところです。



前大分県看護連盟 副会長
板屋 文恵

「れんめい大分」50号にあたって

昭和41年7月に「大分連盟通信」が発行され、故有田幸子姉が「看護連盟をみんなで育てよう」と支部長として寄稿されているのが残っている。その後昭和51年に「日本看護連盟大分県支部だより」の第1号が発行されているが、現在の総会要綱として出されている。昭和62年からは現在と同じ内容となり、平成10年の21号から本格的なカラー印刷となっている。又、平成17年9月発行の第35号から「れんめい大分」と名称を変更している。



1966年発行「大分連盟通信 第1号」
(昭和41年)



1976年発行「支部だより 第1号」
(昭和51年)

訃報のお知らせ



見藤隆子 前日本看護連盟会長が逝去

日本看護連盟の前会長・元日本看護協会会長の見藤隆子先生が11月20日、お亡くなりになりました。80歳でした。1993年から1999年まで社団法人日本看護協会会長に就任し、看護制度の改正に取り組まれました。2004年からは日本看護連盟会長に就任し、リフォーム連盟に取り組まれましたが2009年、病気のため任期途中で清水嘉与子現会長と交代されました。

心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



前大分県看護連盟 副会長
立川 タヨ子

政権奪還おめでとうございます

まずは、新しい自民党の誕生おめでとうございます。
私達の会は、昭和34年日本看護連盟の誕生に続き大分県は一早く昭和35年に発足させました。看護連盟の大きな役割は「看護の代表を国会に送ること」であり、昭和35年に就職した私は、選挙と共に歩いてきました。国会に選出された先生方の働きはすごいものがあります。看護職の地位向上、労働環境改善、労働時間短縮、給料表改善等々感謝にたえません。看護者が安心して働けることは、何より国民、県民に良い看護サービスができることであり、国民が幸せになることであります。

看護職はよく女性職場の代表と言われます。看護職の待遇が改善されれば他の職場も改善してくると言われています。

ここで石田候補に是非取り組んで頂きたいことがあります。日本はまさに少子高齢社会です。これを改善するのも看護職からだと思えます。結婚をすすめ産休を取りやすく、代替要員をふやし、産後も復帰しやすい制度を石田候補の実行力で是非政治的に推進して頂きたい。今日も友達に石田さんの名刺を渡しながらず実現していただけると夢を持っています。



大分県看護連盟 副会長
高橋 多佳子

連盟活動の原点～石本茂先生との出会い～

「友情、信頼、団結」を誓って、昭和34年に誕生した日本看護連盟の歩みを知る会員も数少なくなりました。私自身、看護連盟の存在を知ったのは昭和40年代初めです。当時の上司が連盟役員をしていた関係で、ある時看護界代表の国会議員が来県される為、空港までの出迎えに同行しました。その方が石本茂先生だったのです。先生のやさしい眼差しと穏やかな語り口にすっかり魅了されて、かくも立派な代表を国政に送り出した看護職で在ることを誇らしく思ったものです。

以来、40数年間連盟活動は続いております。石本先生の後継者として送り出された清水先生～南野先生～高階先生～それぞれの選挙での苦労と勝利の歓喜を味わうことができました。自他共に認める「選挙好き人間」になりました。

さて、いよいよ今年は石田選挙です。連盟活動の総仕上げのつもりで老骨に鞭打って臨む覚悟です。皆様の絶大なるご支援を切に願って新年の挨拶といたします。



前大分県看護連盟 幹事長
糸永 和代

若手会員の成長を実感

昭和35年大分県の看護連盟支部創立から40数年活動の中核を担った、岡部末子姉の後任として、平成14年幹事長の大役をお引き受けしました。

看護職代表を国政の場へ送り、看護職と政治との関係の重要さや参議院の清水・南野両先生の活躍を会員に伝える事の大切さを痛感しました。

平成17年リフォーム連盟で支部体制が確立。若手会員委員会を発足させ若者への浸透を計りました。

任期9年間に3回の参院選。南野選挙、松原選挙、忘れられない「やりがい、いきがい、たかがい」の高階選挙では、看護連盟はぶれずに、初志を通した結果、自民党比例4位と高位置の初当選。確実に若手会員の成長に手応えを得た選挙でもありました。

次の参院選が目前。“燃える男石田まさひろ”を何としてでも勝利させねばなりません。25万票を目指し高階選挙超えの戦いを、若手会員に期待しています。



1990年発行「第10号」
(平成2年)



1998年発行「第20号」
(平成10年)



2008年発行「第40号」
(平成20年)



見藤隆子先生は1932年生まれ。1957年東京大学医学部衛生看護学科を卒業され、東京女子大学短大部教授、千葉大学看護学部看護教育学講座教授などを歴任し、1983年から千葉大学看護部長に就任。国立大学初の看護職で女性の学部長として、総合大学における看護学部設立・発展に寄与しました。1986年から東京大学医学部保健学科看護学講座教授、1992年から東京大学医学部健康科学・看護学科基礎看護学講座教授に就任。1993年長野県看護大学学長に就任。また、1993年から1999年まで社団法人日本看護協会会長に就任し、看護制度の改正に精力的に取り組まれました。2004年からは日本看護連盟会長に就任し、リフォーム連盟に取り組みされました。2009年、病気のため任期途中で清水嘉子現会長と交代され、療養に専念されていました。

看護管理者研修会

講演：「看護管理者として今重要なこと」
講師：日本看護連盟 副会長 大島 敏子



臼津・佐伯地区支部主催

日時：平成24年9月21日(金) 18:00～19:00
会場：保健福祉総合センター「和楽」
出席者：68名



研修会に参加して

佐伯中央病院 甲斐 かつ子

看護新時代として、まず冒頭に看護師特定能力認証制度の動き(チーム医療推進会議における医行為分類案について)の説明がありました。

看護界の年齢構造の変化及び新人看護師については、ゆとり教育を受けた世代の為、臨床現場では様々の苦勞があると思われる。看護職に対するの予算は年々縮小されているが、新人看護職員等研修には補助金があるので、活用してほしい。と言われその補助金の使用方法にもアドバイスがありましたので、当院では看護部リーダー会議で早速補助金活用について話し合いを行いました。

また「医師の診療情報提供書等では、保険点数が付いているが、看護師の強みとして、フェイス&フェイスの関係で患者さんや利用者さんが他の施設に移動するときに電話1本でお願いすることが出来る関係が重要。看護士のネットワークの力として主任以上は、研修会等の時に名刺を持参し交換する。そのためには、研修会等参加時、同じ施設のスタッフ同士で座るのではなく、人脈を増やして欲しい」と言われました。まさに、先生の言われる通りだと実感しています。

選挙活動の方法も具体的に話され、看護界の一致団結の必要性を熱く語られました。

最後に管理者は、複雑に多様化している社会背景の中で、スタッフを守る為にも、労働安全管理者の資格を取って欲しいと参加者にエールを送られました。短時間ではありましたが「とてもパワフル且つ看護と政治について分かりやすい講演であり元気をもらいました。」と当院の参加者も大島先生との出会いを大変喜んでいました。

大分県看護連盟主催

日時：平成24年9月23日(日) 10:00～12:00
会場：大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」
出席者：107名



研修会に参加して

湯布院厚生年金病院 日野 幸子

平成24年9月23日大分県看護研修会館において、大分県看護連盟看護管理者研修会が開催されました。講師に神戸大学医学部附属病院 前副院長・看護部長、日本看護連盟副会長の大島敏子先生をお迎えして、「看護管理者として今重要なこと」というテーマで講演が行われました。少子高齢多死社会の到来により、医療提供体制の抜本的改革の検討が急がれている中で、看護現場の問題を吸い上げて労働条件の改善に向けた事業が制度化されるまでは長い道のりが必要となる。看護新時代は、看護で社会をリードする時代であり、自らの意思決定で行動する看護師になると話されました。

管理者や教育者をはじめ、看護師自らが語り動き出さなければ、政治家や行政も動き出さない。自分に変革する覚悟がなければ制度や法律を変えることができない。看護の未来は、動き出さなければ開かないし患者中心の医療も実現しないことを力説されました。労働条件の改善や看護の地位を上げていくためにも、私達看護の代表者を国政に送り出していかなければならないことを再確認しました。

これからの看護を担う人たちが「したい看護ができる臨床」に変えていくためにも、政治の参加の第一歩として、選挙に行くことの意義を管理者として伝えていかなければならないと実感しました。

大島先生の看護界を良い方向に導きたいという強い意志とエネルギー溢れるお話に元気をいただくことができました。

全国ポリナビワークショップ in 福島に参加して

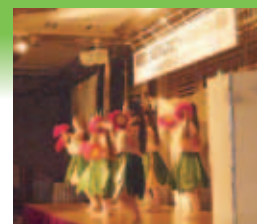
日時：平成24年10月17日(水) 13:30～16:30
会場：郡山ビューホテル(福島県)



(渡部・幹事長・会長・徳永)



終了後全員で記念撮影



余興：郡山フラダンスメンバー



健康保険南海病院
渡部 あい



2011年の震災後、日本人の一人として、また看護に携わるものとしてかねてより一度は訪れたいと思っていた福島へ、ポリナビワークショップ in 福島へ参加するために行って来ました。

震災から1年と7か月、少し遅い訪問かと思いましたが、ポリナビのシンポジストの方の話のなかで、被災地では今もなお日常に戻っておらず、風評被害、原発事故で苦しんでおられる方が大勢いるということを改めて知りました。震災の話をすると思ってしまうからあまり語りたくないと思う一方で、この災害のことを忘れてほしくない、過去のことにしてほしくないという思いがあるから話しているというシンポジストの方の言葉が印象的でした。現地を訪れ、まだまだ震災は過去のものではなく、私たち看護職が役に立てることがありそうだと感じました。住んでいるところとは関係なく、がんばろう日本! 福島はとても美しい所です。また、福島に訪れたいと思います。“わせねでや”(わすれないで)



杵築市立山香病院
徳永 芽依



今回、福島で行われた全国ポリナビワークショップに参加しました。シンポジストの発表で心に残った事は、開催地が震災のあった福島県ということ、実際に災害にどのように携わっていたのか、その時どのような行動をとっていたかなどでした。それぞれ震災の被害は違いましたが、震災時の各地域の看護職の方が力を合わせて患者さんを守ろうとしていたことが発表時間の中ですごく伝わってきました。内容は、衝撃的なこともありましたがテレビの放送ではなかった震災の凄さを感じました。

ポリナビに参加するのは今回で2回目です。ポリナビ参加の経験が少ない中で、集まった同じ看護職という繋がりや、自分の思いを伝えることや共感し合うことができるのは素晴らしいと感じました。

また機会があれば参加したいです。

県別会議

日 時：平成24年11月26日(月) 9:30～12:30
 会 場：大分県看護研修会館(3F)「第4研修室」
 講 師：日本看護連盟 幹事長 阿津 公子
 対 象：県役員・各地区支部長・幹事長



幹事長 加藤 富美子

日本看護連盟阿津公子幹事長を迎え、県別会議が開催された。阿津幹事長より、石田まさひろ選挙関係の経過報告と知名度調査の結果についての報告があった。石田氏は8月末まで連盟会員がいる7000施設のうち600施設、参加者は35000人、大分県では11月までに8回ほど来県、1024名と会っている。知名度調査は、全国平均69.7%、大分県では73.4%と高い比率が出ている。しかし、どの地区をみても20歳代の会員が29%と低く、今後は投票に結びつく働きかけが

必要である。

協議事項として①組織強化については、12地区支部より事前に提出された意見を集約して発表、②第23回参議院選挙対策については、大分県のノルマ数4700票にそって12地区支部の取り組み状況の報告と確認について意見交換が行われた。最後に永瀬フミエ顧問より選挙対策のアドバイスをしっかりと受け止め、選挙に向かっていくことが重要であると話されて終了した。

リーダーセミナー

日 時：平成24年11月26日(月) 13:30～16:00
 会 場：大分県看護研修会館(2F)「第1研修室」
 出席者：168名



● 大分北部地区支部 地区幹事のまとめ

● ①研修会で学べたこと

● 「安心して活動するために」という講義を受け、選挙運動と政治活動の違いやそれぞれの時期にどのように活動をすればよいのかを知ることができた。

● これまで、選挙は投票に行くという行動レベルでしかなかったが、看護連盟支部役員になったことで、選挙に行くことだけのもので投票に行ってもらうためにはどのような行動をしなければならないのか、また、活動するにはどのようなことに気をつけるべきか、選挙運動の3要素「特定の名前」「特定の選挙」「特定の依頼」選挙運動期間中以外に、この3要素を同時に伝えると選挙違反になる。相手に合わせて工夫が必要だということを知ることができた。

● ②今後の活動に活かしていきたいこと

● まず、私たちが石田まさひろ氏のことを知り、今までの経歴、政治姿勢、尊敬するところ、共感するところなどを見つけ、知名度をあげるために日々スタッフに繰り返し話すことが必要だと感じた。

● 看護連盟の活動について知らないスタッフがたくさんいる。まずは看護連盟の活動を知ってもらうこと、看護連盟の活動が看護の未来を変えることだということをしてもらうことが重要である。基礎研修を終えたスタッフも時間が経過したら忘れてるのが現状である。今年7月の選挙に向けてタイムリーに声かけ、選挙が近づけば投票に行くように各部署の連絡員に協力してもらい活動していきたい。

国東市民病院 石川 晴美

会員が連盟を理解し政治に関心をもってもらい、私たちの代表石田まさひろさんの知名度を上げ、確実票につなげる事を目標に取り組んでいます。しかし新病院の移転や電子カルテの導入が重なり、熱伝導を行うには今一つ志気の盛り上がり欠けていました。

そんな折、リーダーセミナーに各部署のリーダー全員で参加し、阿津幹事長の講義を受講しました。安心して活動するためのルールを学びグループワークをしたことで、メンバーの心を一つにする機会となりました。今後は「連子の会」と命名し活動、ジャンプしていきます。

研修会等のお知らせ

| 研修会 | 日時 | 会場 | 内容 |
|-------------------------------|-------------------------|--------------------|---|
| 大分4地区支部合同研修会 | 2月9日(土) 13:30~16:00 | 大分県看護研修会館 第1研修室 | 「よい看護に必要なことは」 講師: 小川 央氏 |
| 九州ブロック ポリナビワークショップin 福岡 | 2月2日(土) 13:00~17:00 | ナースプラザ 福岡研修ホール | ・各県青年部による 「看護にとっての必要な9カ条」 「輝く看護の未来」 講師: 石田 まさひろ 先生 |
| 会員研修 | 3月13日(水) 13:00~16:00 | 大分県看護研修会館 大研修室 | 「日本における看護記録の 法的要件」 講師: 岩井 郁子 先生 |

大分県看護連盟 通常総会

● 日時 ●
平成25年6月30日(日)

● 会場 ●
大分県看護研修会館

確かなものを、贈りたい。 Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品の
ハム・ソーセージの
詰合せをどうぞ。



丸大食品株式会社
九州特販営業課

福岡県糟屋郡粕屋町大字内橋673-8

TEL 092-621-2121 FAX 092-621-2122

平成25年度連盟会員を 募集しています!!

平成25年度
会員目標 **3,500名**

連盟会費 年間 **7,500円**

日本看護連盟
会費 5,000円

+

大分県看護連盟
会費 2,500円

=

年会費
7,500円

ベッドサイドから政治を変える!

特典

- ◆連盟主催の研修会に無料で参加できます。
- ◆機関紙「アンフィニ」の配布(年3回)や情報の配信
- ◆「れんめい大分」の配布

◆賛助会員 **1,000円**
◆学生会員 **無料**
★詳しくはホームページを
ご覧ください。

【お問い合わせ先】 大分県看護連盟
〒870-0855 大分市豊鏡310番地の4 大分県看護研修会館
TEL (097) 574-7088 FAX (097) 574-7517
e-mail : oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

東洋羽毛の羽毛ふとん

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。



東洋羽毛九州販売(株)福岡営業所

フリーコール 0120-104-557 <http://www.toyoumo.co.jp>



編集後記

明けましておめでとうございます。「れんめい大分」50号を広報委員として、編集できたことを大変うれしく思っております。

今年も「れんめい大分」は活動報告、研修のご案内を掲載し、連盟の熱い思いを皆様にお届けしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

広報委員一同